

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.24

東松山市では、1976(昭和51)年に制定した市民憲章で「文化を育てスポーツを愛し 視野の広い市民に」とうたっており、昭和50年代以降、スポーツ施設の整備が進みました。サッカー場や野球・ソフトボール場等のグラウンド、屋内体育・レクリエーション等の多種多様なスポーツ活動に応えられる市民体育館の完成により、市民が身近で気軽に利用できるスポーツ施設が充実しました。

1977(昭和52)年、敷地約1万4000㎡の岩鼻運動公園に、当時珍しい芝のサッカー場が建設され、市民の自慢の場所となったんだ。



1988(昭和63)年オープンの東松山市民体育館は、メインアリーナ、サブアリーナ、観客席のほか会議室も設置され、市民から喜ばれたよ。

スポーツ施設の充実

1976(昭和51)年頃



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリン』のキャラクターたちです。

ニュートリン三兄弟



エちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま
キッズ集合!

おしえて『文化財』

物見山岩殿山観音の勝

『勝』には「景色のすぐれているところ」という意味があります。物見山は岩殿丘陵の最高峰であり、古くからその眺望と、また春にはツツジの名所として知られ、大正11(1922)年に県の名勝地として指定されています。『物見』という山名は、平安時代の坂上田村麻呂将軍が東征の折、この山に登り四方を眺めたという伝承に由来しています。山腹には巖殿山正法寺があり、数多くの文化財があります。

特に空気が澄んで晴れた日には、富士山・箱根山・丹沢山地・外秩父山地・上毛三山・男体山・筑波山などの山々や、関東平野が一望でき、すばらしい眺めです。



ツツジの季節



関東平野が遠くまで見渡せます

問
埋蔵文化財センター
27-103333
FAX 27-10334